



レストハウス営業中です！

旭山記念公園レストハウス営業中、今年は自動販売機の台数が増えました。
ソフトクリーム、焼きそば、芋もちなどをご用意して皆様のお越しをお待ちしております。
噴水は日没から 20 時までライトアップされています。

旭山では見られない鳥から旭山の自然環境を考える

旭山記念公園の自然環境をひとことでいえば「森林につながる里山的環境」。
自然がそのまま残されているのではなく、人の手が入った自然環境。
隣接する札幌市旭山都市環境林と合わせた旭山はいわば「森の入口」。
そんな旭山では、北海道の森林性一般鳥類のほとんどが記録されており、
旭山で見られる鳥は全道の森で見られるともいえます。

今回は、主に旭山では見られない鳥を例に挙げ、旭山の自然を別の視点で
考えてみようというお話です。

◎エゾライチョウ (右写真、新得町にて撮影)

山林で見られるエゾライチョウ、旭山は生息地としては標高が低く人間の生活圏に近すぎると考えられます。
ただし、藻岩山ではかつて出現記録があります。

◎コノハズク

「仏法僧」と夜に鳴く小型フクロウ、深山と呼ばれる人里離れた森に生息し、里山近くにはいないようです。
ただし同じ深山にいるカッコウ科のジュウイチは、旭山でも春の移動の時期に何度か記録があります。

◎ヒバリ

ヒバリは開けた草地があれば山地にもいますが、草地が狭い旭山にはいません。
「ちびっこ広場」があと 3 倍広ければ、旭山でも見られた可能性はありそうです。

◎カワセミ

旭山は川はあるものの狭くて水量が少なく、池も小さく、魚を餌とするカワセミが住むには適していません。

◎カワガラス

溪流の鳥カワガラスも記録はないですが、川は狭くてももう少し水量があればいるかもしれません。

◎カッコウ

カッコウは 6～7 月に時々旭山でも声を聞きますが、かつては普通に見られました。

カッコウは草原性の鳥で森林にいませんが、旭山記念公園は約 50 年前ハゲ山に植林した土地で、木が小さく低いうちはカッコウが生息していたものの、木が育ち森となったことで生息に適さない環境となったために、旭山からいなくなったと考えられています。

■夏に旭山にいないクロジ、ルリビタキ、コマドリ、エゾムシクイ、ビンズイ

これらの鳥は 4 月から 5 月に南から渡って来て旭山で短期間見られますが、
山地(高山)で繁殖するため、夏には見られません。 (右写真:クロジ、旭山にて撮影)

■旭山では「珍鳥」、ムクドリ

札幌中心部でもきわめてよく目にするムクドリは森林にはいないため、
旭山ではめったに見られない「珍鳥」です。



6 月の「野鳥観察会」「自然観察会」

- 「旭山野鳥観察会」、6 月 9 日(土)の毎月第 2 土曜定例開催の他、6 月 14 日(木)9 時からも行います。
参加費 100 円(保険代として)、双眼鏡無料貸出いたします。
- 「旭山自然観察会」、6 月以降は毎月第 3 日曜日開催に変更となりました。次回は 6 月 17 日(日)です。
参加費 100 円、双眼鏡貸出あり、植物や昆虫観察を中心に「旭山都市環境林」を歩きます。
みなさまのご参加お待ちしております！

春に鳴くセミ「エゾハルゼミ」

「セミの鳴き声がすごいね」「今日は暑いからね」

旭山では最近そんな会話を時々耳にします。

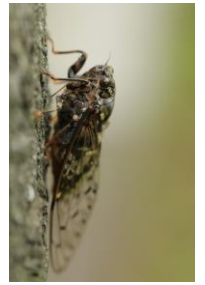
しかし、今の時期のセミは決して夏のように暑い日だから鳴いているのではありません。

「エゾハルゼミ」、その名の通り春に鳴く種類のセミで、毎年5月15日頃鳴き始めます。

「エゾハルゼミ」発生は6月上旬ピーク、旭山ではセミの大合唱で会話もできないほど。

7月に入ると産卵を終えて鳴き声が聞かなくなります。札幌では次のコエゾゼミやアブラゼミが鳴き始める7月下旬までの少しの間、夏にセミが鳴かない時期があります。

また、「エゾハルゼミ」は街中にはいないため、旭山に来るとその鳴き声に驚くということにもなるのです。



6月の野鳥トピックス

野鳥についての詳しい情報はホームページの野鳥情報をご覧ください。森の家までおたずねください。

★ムギマキ＝5月20日(日)今年初認、2日にはいなくなりました。★オオムシクイ＝5月25日初認。

★センダイムシクイとツツドリとのせめぎ合い＝5月下旬から6月上旬にかけて、森の家近くでツツドリが盛んに鳴き、その「ボボッ」という声に呼応するようにセンダイムシクイも囀るということがありました。ツツドリはセンダイムシクイの巣に托卵(＝他の鳥の巣に卵を産み仮親として子育てさせること)をしますが、両者の間でなにやらせめぎ合いがあった模様です。

この春園内で観察されたオオタカ

★オオタカ＝園内で営巣を試み、5月中旬まで雌の個体が頻繁に観察されていましたが、条件が悪く、ハシブトガラスに追い回されるなどもあり、営巣しませんでした。

★オシドリ＝5月31日、園内でオシドリ雌＝母鳥が12羽前後の幼鳥を連れて歩いているのが観察されました。オシドリは大木の樹洞に営巣し雛が孵化すると巣から出て水辺まで移動しますが、この時はその移動の最中だったと思われます。

★シマエナガ＝幼鳥巣立ち前のこの時期は観察情報が少ないです。



旭山ネイチャーミニフォトギャラリー2018年6月



囀りするキビタキ雄



エナガ(亜種シマエナガ)



ハサミツノカメムシ



翅を広げたトラフジミ春型雄



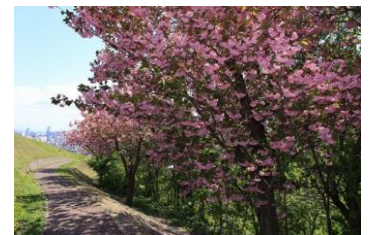
コンロンソウ



マムシグサ(コウライテンナンショウ)



旭山では少ないシウリザクラ



満開の八重桜 2018年5月20日

編集後記

鳥などの鳴き声を人の言葉に置き換えて表現することを「聞きなし」といいますが、では、エゾハルゼミの鳴き始めの音はどう聞こえますか？
「楊貴妃」「ホーチミン」「ひょうきん」「おおきに」・・・
エゾハルゼミは朝気温が16℃まで上がると鳴き始めます。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第54号 2018(平成30)年6月2日発行

発行：(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所：〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先：電話 011-200-0311(土・日・祝日10時～16時) FAX 011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiya/>